



水キヲキラ 町いきいき 入善

議会だより 入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN

吉深層水

6月定例会

平成13年度一般会計補正予算	2
常任委員会レポート	3
一般質問～町政を問う(11議員)	4
研修視察(産業経済常任委員会)	16
町発注工事入札結果表(4月～6月)	17
各種団体・傍聴席からひとこと	18

No.118

2001年7月27日

(平成13年)

発行/入善町議会

編集

入善町議会広報編集特別委員会
富山県下新川郡入善町入膳3255
☎0765(72)1100 FAX 0765(72)4711

暑中お見舞い申し上げます 入善町議会

平成13年度一般会計補正予算 7162万円を追加 総額107億242万円に

乳幼児の医療費の窓口払いがなくなります

6月11日から21日まで6月議会定例会が開催され、一般会計や特別会計の補正予算や条例改正を可決した。一般会計は7162万円を増額し、総額107億242万円とした。

**幼児医療費
助成
89万円**

これまで、医療費を一時立替払いをしていたものを、7月1日からしなくても良いことにした。
健康福祉課で、福祉医療費受給者証の交付を受け、医療機関の窓口で受給者証を見せ、福祉医療費請求書を提出すればよいことになった。
この制度を利用できる医

**保育所維持
管理費
1564万円**

療機関など、詳しいことは、健康福祉課医療保険係におたずねください。

西部保育所に隣接して293㎡の用地を取得し、駐車場を確保する。これまで、園児の送迎などで交通渋滞を引き起こし、保護者の皆さんや付近の方に迷惑をか

**中心市街地
活性化対策
事業費
82万円**

この交通渋滞を解消し、園児の送迎を円滑にするため駐車を整備する。

中心市街地の街路灯設置について、町の補助率を50%から65%に引き上げた。

6月議会で審議された条例

入善町乳児及び幼児医療費助成に関する条例の一部改正について……………可決
入善町漁港管理条例の一部改正について……………可決

請願のゆくえ

五十里地区第53号排水路（下部）の改修に関する請願……………採択

意見書の提出

議員提出議案

乳幼児医療費の無料化を国としておこなうことを求める意見書……………可決

地方自治法第99条の規定により政府関係機関へ意見書を提出した。

道路特定財源を見直し、一般財源化を求める意見書……………否決

常任委員会レポート

総務

多くの若者が参加しての
地域アドバイザー事業の展開

各種団体の代表者による地域アドバイザー事業では、行政の押しつけ的な事業展開と見受けられる。町づくりに対する意見を持つ方々、特

に時代を担う若者達にたくさん参加して頂き、多様化する行政需要に対応した住民参加の町づくりに積極的に取り組むよう要望する。

教育福祉環境

身体障害者短期入所事業の
委託料増額

障害のある人も健常者もすべての町民のために福祉制度を充実させることが、自治体に課せられた課題である。

介護保険制度の狭間でサービスの提供を受けることのできない人を町単独でもカバーしていくという姿勢を高く評価する。

痴呆性高齢者調査に 期待する

痴呆性高齢者を抱える家族は、日常の介護に非常に苦勞をしておられる。

この実態を把握するため痴呆性高齢者の実態調査が行われる。県の調査とはいえ、町での調査件数30件という少ない件数で全体を把握できるか懸念を抱くが、この調査で痴呆性高齢者の福祉施策拡充につながることを期待する。

また、福祉行政の旗手として、町社会福祉協議会の役割は非常に大きいものがある。町は、社会福祉協議会と連携を強め、福祉施策の先取りと充実に期待する。



駐車場が整備される西部保育所

産業 経済

海洋深層水は町経済の
起爆剤になるよう期待

海洋深層水活用推進事業費30万円は、海洋深層水のPR用パンフレットの作成費である。

海洋深層水は、町経済の起爆剤として期待されており、町のPRに十分活用したい。

なお、今回の人事で企業誘致担当主幹が専任配置されたことでもあり、町の企業誘致に一層の効果を期待する。

雇用促進住宅「栢山宿舎」の駐車場消雪用井戸を掘削する件については、隣接県道の消雪や地下水への影響を考え、関係者と十分協議し、理解を得ていただきたい。

街路灯整備を契機に 活性化を促進

中心市街地活性化対策事業費は、商店街の街路灯の整備に対し、町の補助率を50%から65%に引き上げ、地元負担を軽減する措置である。

商店街の整備は、町が計画している中心市街地活性化のためにも、その必要性は十分に認識しているが、現在の商店街の閉店時間が早いのではないかと意見もある。

街路灯の整備を契機に閉店時間をもう少し遅らせてもらうなど協力を促し、活性化を図っていくべきである。



環境汚染が心配される連携排砂

ここが聞きたい……

町政を問う

11人の議員が登壇

6月議会の一般質問は、15日の一日間で行われた。10月の町長・町議同時選挙を間近にして11人が質問、激論が交わされた。

主な内容は次のとおりである。

(注) 一般質問は、本人が原稿を書き、原則としてそのまま掲載した。

- 町の人事評価制度と評価後の対応について
- 海洋深層水事業の今後の取り組みについて
- 近隣市町の医療機関への公共バス運行の取り組みについて
- 「みゼロ」と循環型社会形成への取り組みについて
- 市町村合併の情報提供は行政の責任
- 学校給食は地産地消を
- 町長2選出馬決意と、新総合計画の遂行について
- 学校調理師の25%が臨時職、一般行政職で考えられるか
- 火災防止対策、吹鳴装置無作動の改善策について
- 近隣町にくらべ義務的経費がなぜ高いのか
- 「聖域なき構造改革」総合計画の見直しについて

人事評価制度の導入及び

背景と対応を聞く

上田 健次 議員

町長

公平、公正な人事管理と公務能率の推進を図る

問 町の人事評価制度と評価後の対応を問う。

米澤町長 これまでの年功序列的昇進や年齢給的な体系を改め、成果主義、能力主義に基づく信賞必罰の人事制度とし、そのため人事評価システムの導入を決定した。評定の方法は、全ての職員が対象であり、職員の職務行動に限定し、実績、態度、能力の3要素について、課長が所属職員を評定し、助役、収入役、教育長が課長を評定し、最終管理者の助役が調整し、町長に報告する。職員の能力、実績を評価し、町民主体の町づくりのために適正配置を行うなどの人事管理制度にする。

問 職員の適正な位置づけ、人材の育成の取り組みは。

本多総務課長 地方分権の進展と、行財政改革の中で、職員に求められる能力を明確にする必要がある。そうした視点から、政策形成能力、対人調整能力、国際化対応能力、情報能力、法制執務能力、管理能力等高度な専門知識、事務処理能力を職員が修得する事が求められている。具体的には、住民と協調・共同しながら町づくりを行う。業務遂行にあたって民間的経営感覚をもち、常にコストを念頭におくよう意識改革を図る。職員研修の具体策として、県及び県研修協議会の階層別研修、市町村アカ

デミー専門研修などへの派遣を積極的に進める。

問 庁舎内における職員の挨拶と対応をどう指導しているか。

総務課長 職員のお客さんへの対応については、町民の皆さんからもご批判を頂くこともあり、常日頃から機会あるごとに、職員に喚起を促している。また、講師を招いての接遇セミナーも行っているが、一朝一夕とはいかず、苦慮している事も事実である。本年採用した職員に、研修の一環として本会議会傍聴させており、来週の実地研修では、接遇に力を入れ、民間ホテル支配人による、個別接客セミナーを行う。また、本

庁職員を対象に、接遇を主として階層別に自主研修サークルを結成し、住民の心、住民の痛みを理解できる奉仕者たる職員としての意識改革が必要と考える。

問 省エネの観点から庁舎内の夜間照明にも配慮を。

総務課長 残業時における消灯については、管理面からも早急に配慮する。

住民環境課窓口



海洋深層水事業を どのように進めていくのか

山下 勇 議員

町長

深層水事業推進庁内連絡会議を 設置し取り組んでいく



深層水取水管敷設式

問 九月から深層水取水が始まるが蓄養施設をどのように活用されるか。

町長 蓄養魚種マアジ、フクラギなどの回遊魚、ヒラメ、クロダイ、フグなどの根付き魚を収容できる施設で、適した水温、広さなど、初期の段階は、一定期間の試行利用とし、漁協の管理運営で行う。

問 養殖アワビの技術的な問題点ほどの程度確立されているか。また熱源は。

町長 夏は外気温による昇温が期待され冬は、ボイラー

により昇温する。出来るだけ低い水温での早期生産をめざすほか、清浄性を活かした高密度養殖に取り組むことにより、十分に採算が取れると考えている。

問 非水産部門にどのような企業誘致対策をとっているか。

町長 入善町の地下水を活用したアルカリイオン水「深海遊夢」が富山化学において本格販売されており、ぜひ入善の深層水を利用したいとの申し出があり、「オアシスin入善」と合わ

せた町の深層水の商品になるものと期待される。県ではIT、バイオ、深層水をテーマに挙げ、入善町企業誘致促進協議会を設立したところであり、県と連携しながら取り組んでいく。

問 飲料会社の工場を入善町へ誘致の計画、働き掛けをする考えはないか。

町長 ビール酵母の発酵段階に深層水が利用されており、本町にはアサヒ飲料株式会社が入善町に立地しており、深層水の利用と共に今後も町の進出を働きかけて行く。

問 滑川市が計画している深層水事業と見直し、県側の説明、入善町の深層水事業への影響は。

町長 滑川市の施設は、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が行う実験施設であるが各々活用すると予想される。14年度までに取水施設の整備をし、実験期間13年度から15年度まで、以後は地元で委ねられる。入善町の深層水活用事業と競合する点もあり、入善深層水の基礎固めを急ぐ必要がある。

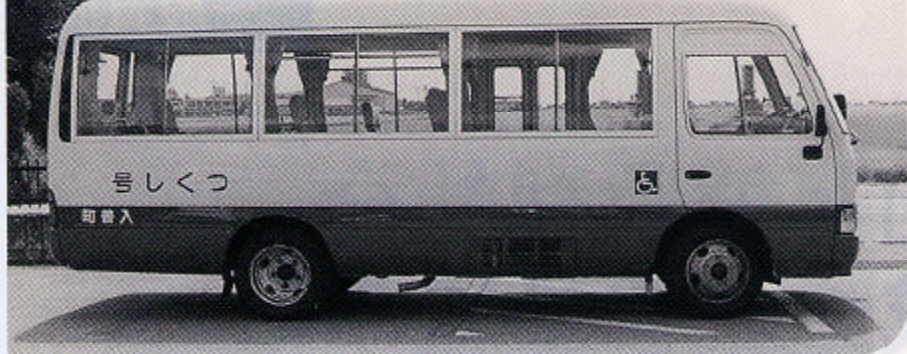
全国共通の課題

国の制度として

対応を働きかける

問 10月より正規の介護保険料になるが低所得者の減免措置をどのように考えているか。

上原健康福祉課長 新川地域介護保険組合では2800円を月額基準とし1400円から4200円まで五段階に分け低所得者に配慮している。10月から月額徴収となり年間基準額25200円と現在の2倍になる。低所得者への対応に検討を加える必要があると考えている。



活用がのぞまれる「つくし号」

問 町営バスは、小学生や入善高校生、駅を利用する人も乗れるように配慮し、車椅子でサンウエルにリハビリに通っている人のために、身体障害者用バス「つくし号」の定期運行を図るべきである。また、近隣市町の医療機関へ通院できる県営のバス構想を県に提案されたい。バス運行には町内のタクシー業者の参加を図るべきである。

健康福祉課長 「つくし号」は、運転手の確保など困難だが、前向きに検討していく。

問 町長の「地方交付税縮小計画は、国政の失敗を地方に押し付けるもの」との発言には同感であるが、町長が行う「一八〇度の財政運営の転換」とはどのような方向か。

意見 国の政策に迫られ、莫大な負債を抱えた事は町の責任でもある。住民の福祉切り捨ては許されない。

町長は排砂問題の解決に主導性を発揮すべき

問 昨年のダムの土砂変質抑制策ほどの程度の効果があつたか。

町長 土砂に酸素が送られ、効果があつたと聞いている。

意見 国の工事事務所の責任者は、土砂の表面だけで内部は期待できないと認められている。国の報告だからと安易に信じるべきでない。

問 排砂評価委員会に、被害住民や、これらの人が推薦する専門家を加えるべきである。

町長 委員の追加要請はやぶさかではないが、利害関係の強い住民は無理。

問 低所得者の利用料・保険料の減免や介護認定のあり方など、抜本的対策が必要と思うが。

健康福祉課長 組合独自の充実に努めながら、国に制度の改正を求めていく。

介護保険に町がもっと積極的なかわりを

近隣市町の医療機関へ通える 公共バスを考えるべきである

商工観光課長

県や広域圏、関係市町と連携した
運行について検討したい

松田俊弘 議員

「ごみゼロ」と循環型社会 形成への取り組みは

大橋 美椰子 議員

町長

部分解体など再資源を促進する ための措置を講ずる



今年度取り壊されるケンコウセンター

問 大型施設取り壊しによる排出者責任としての町の取り組みと業者への指導はどうか。

町長 建設業を営む者は、工事の施工方法などの工夫により、廃棄物の発生を抑制するとともに、再資源化に要する費用を低減するよう努めなければならない。

問 分別解体工事の発注者は都道府県知事に届け出が規定されており、入善町にっては今年以上に町民、企業、行政が力を結集して、環境問題、そして、再資源化を基本とした循環型社会の構築に努めるため「クリーン入善7129作戦」などに積極的に取り組む。

問 「ISO14001取得事業」に対して、3年計画600万円をかけたの事業の今後の具体策と、我が町の企業の実態をも含めて、どこまで現状を把握しているか。

町長 先の課長会議で早期取得に向けて取り組むことを意思表明した。今後、適切なプロジェクトチームを早期に立ち上げることにしているが、取得までには、1年から1年半ほどを要する。

入善町高齢者 保健福祉計画は

問 計画の基本目標が発表されているが、5項目それぞれ行政の取り組みと地域住民への指導を具体的に示せ。

町長 1、健康づくりの推進と地域医療の充実。

健康診断・訪問活動・機能訓練の充実・介護予防教室等の開催・生きがいデイサービスの実施。

2、総合的な福祉サービスシステムの確立。

配食サービスや、寝具乾燥消毒サービスなどの生活支援を充実させる。介護支援センター、民生委員などを含めて相談体制、緊急通報体制を整備し、地域ネットワークを構築する。

3、生きがい対策の推進と社会参加。

スポーツ大会の実施、パソコン教室などの教養講座を開催。シルバークラブを建設し、勤労意欲のある高齢者に就労の場の提供に努める。

4、住みやすいまちづくり。公共施設や道路のバリアフリー化を図る。医療・福祉機能を備えたシルバークラブを東町住宅建て替えの中で建設を計画。

5、地域福祉の充実。ボランティア活動などの活性化を図り、地域ネットワークの強化を図る。

市町村合併の情報提供は行政の責任

東 狐 和 議 員

町長

新川地域合併研究会で調査研究中



明るく元気な子供たち

問 地方分権の推進、少子高齢化社会の到来と財政事情など厳しい状況で、市町村合併は避けて通れない課題だ。合併するほうがいいのか悪いのか議論するため情報提供は行政の責任だと思いが、具体的にどのように提供するのか。

町長 社会経済情勢の変化を踏まえ市町村合併について十分検討、議論が必要。2市3町の助役等による「新川地域合併研究会」を発足させ、合併是非の結論ではなく、合併した場合のメリット、デメリットを調査し、住民から問われた場合に明確に答えられるよう調査研究することとしたところである。

校内児童殺傷事件の防止対策は大丈夫か

問 安全であるべき小学校であってはならぬ惨事が起こった。本町ではどのような安全対策をとっているか。

米島教育長 緊急に安全点検項目の再点検を指示した。各学校が作成した安全確保、事故対応マニュアルに基づき行動できるよう対応している。学校、地域、PTAが一体となった体制整備が必要と思っている。

問 戦後教育の危機打開策は。

教育長 明年度より新学習指導要領に変わるが、基本的には、子どもが生きる力を育むことを大事にするところである。まず第一に、教育の原点は家庭であるこ

とを自覚、第二に学校は道徳を教えることをためらわない。第三はボランティア活動や体験学習の重視を基本に、教育相談体制の強化と指導を行い、有害情報から子どもを守る環境整備等、21世紀教育新生プランの方向で取り組みたい。

児童虐待の実態と対策は

問 本町における児童虐待の実態と対策はどうか。

健康福祉課長 本町の児童虐待の事例報告は現在のところない。情報交換を図るため地域協力員や関係機関との連絡を密にしたい。

問 女性に対する家庭内暴力への対応はどうか。

教育長 入善警察署での夫

婦間暴力に関する相談事例12年度5件、本年は2件。警察署や社会福祉協議会での早目の相談が大切である。

女性施策は

首長の姿勢次第

問 本町の行政委員会の男女共同参画度と女性比率は22・8%である。町長の説明責任が問われる。

金森生涯学習・スポーツ課長 現在、女性議員数、各種審議会、条例に基づくものを含めた登用率22・8%だがあらゆる機会を通じ、企業、労働組合、経営者団体、教育・研究機関、PTA等各種団体、機関等に協力要請を行う。14年度で男女共同参画推進条例を制定する。

学校給食は地産地消を

長谷友義議員

教育長

なるべく使うよう指導している



とれたて朝市にゆうぜん

問 少子化の時代となって未だ今日、「地産地消」で新鮮な地元の野菜と入善米「つぶぞろい」を使用し、元気な子どもに育ててはどうか。

教育長 入善町内の学校へはなるべく地元の産物を使うように指導をしているところである。

しかし、1000〜5000名分の野菜等を確保するには、同一の品物を同じ日にたくさん納入する物が地元

にないこともあり、地元以外からの食品を使うのが現状である。しかし、その日の献立によっては、地元からの仕入れをすることになっている。たとえば、玉女の会から、人参と玉ネギを、米山農産から青島漬けなどを、生産者の顔が見える食品を仕入れるようにしている。給食米については指摘の通りだが、入善米を使うとなると、わずかな金額かもしれないが、給食費

が高くなる。関係機関や保護者で増額分の負担を考慮していかなければならない事などから、今後は関係機関と検討したいと考えている。

土地改良区の合併の

見通しはどうか

問 10カ月を切ったというのに、何の音沙汰も見受けられない。補助金と今後の見通しはどうか。

町長 土地改良区の統合に

向けては、平成12年9月に、関係6土地改良区、県魚津農地林務事務所、県土地改良連合会及び町で構成する統合整備推進協議会設立委員会が設置され、12年10月1日に正式に統合推進協議会が設立した。特に、役場から専任の事務長を配置した。この4月以降においては、月に3回以上のハイペースで進められている。そして、現在は統合された場合の新改良区の想定される、経常賦課金や職員数の試算を算定し、あるべき組織の姿を見出すための、協議が続けられている。統合時期については、当初の方針である14年4月の目標は堅持しつつ、精力的に統合整備に向けての努力は続けられている。また、統合整備推進協議会から、具体的な支援要請があった場合、適切な措置を取りたい。

2 選出馬に対する決意は

町長

新総合計画を遂行するため

町民と一緒に精力的に

広瀬 喜代志 議員



次代を担う中学生

問 今年10月に町長、議員共に町民の審判を受ける訳であるが2選に対してどのように思っているか。

町長 町政を預かるようになり3年半が経ち、町長として一期の締めくくりを迎えようとしている。

就任以来、健康交流プラザ、入善児童センター、武道館、町営住宅などの建設、町営バスの運行、下水道事業整備、介護保険制度の実施、2000年とやま国体の開催、新しい総合計画の策定などに取り組んできた。今後は海洋深層水活用事業や企業誘致の促進、福祉や環境の問題、情報化、国際化などの諸問題を町民の皆様と共に一つ一つ解決

していきたい。

環境、福祉教育、奉仕

活動等を重視したい

教育を推進したい

問 町政における教育改革について、どのような基本的考えをもっているか。

入善町総合計画を遂行するにあたっての整合性についてお答え願いたい。

教育長 新総合計画の実施計画には4つのリーディングプランのもとに6つの施策体系事業があり、そのうちの1つに「みがくー未来を育む人づくり」として教育に関する施策が挙げられている。今後社会は大きく変化するがその変化に対応

するための必要な教育を行う。情報化、国際化、高齢化、少子化社会であり、いかなる時代であろうとも豊かな心を育むことと、行動力を重視した教育が必要、こういうことであろうと思う。

教師の資質の向上をめざし、研修を深めると同時に、ボランティア活動を推進するとともに、実際に実施することを前提に計画を進めている。

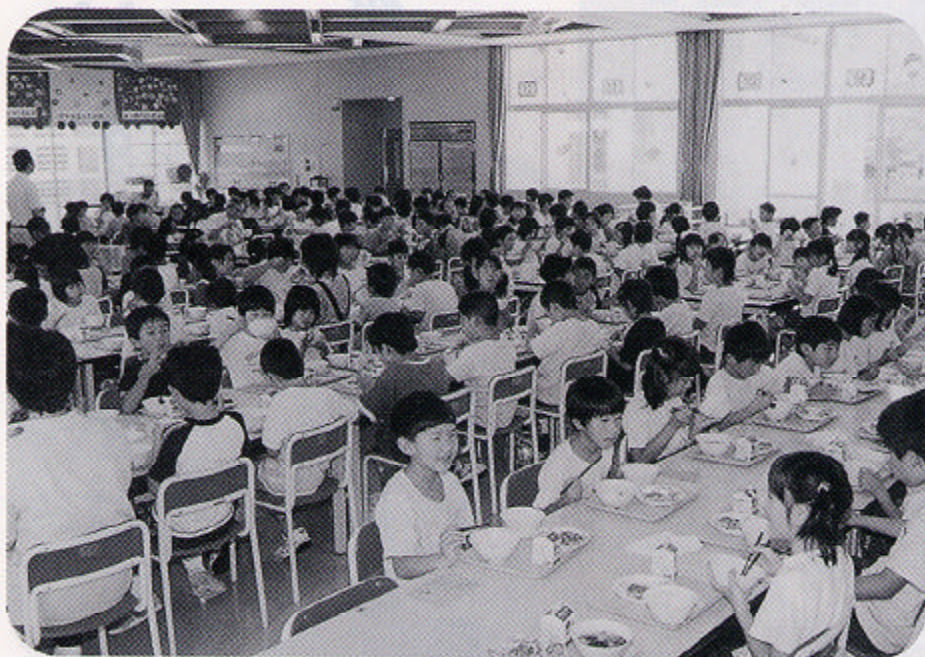
学校運営に関しては、学校評議員制度の導入も検討して、教育改革の一端を進めたい。

学校給食調理師の25%が臨時職 一般行政職で考えられるか

九里郁子議員

町長

採用はかなりの生涯賃金になる



ランチルームで楽しい給食

問 学校給食は教育の一環であり、合理化や調理師の専門性を無視した臨時職員化は許されない。調理師の専門性をどのように考えているか。

教育長 今後も、できる限り正職員の調理師による自校給食を実施したいと考えているが、町全体の職員数との関係もあり、十分理解

を求め検討していきたい。

問 学校給食調理師の25%が臨時職員である。一般行政職の場合それで責任ある行政ができるかと考えるか。

町長 子どもの数が減少しており、一人採用するとかかなりの生涯賃金になる。

学童保育、児童館の増設を

問 来年度から学校週休2日制になる。学童保育を増やす考えはあるか。

すべての小学校下に、児童館やミニ児童館の整備が必要と考えるかどうか。

第三子の保育料減免を拡充すべきと考えるかどうか。

健康福祉課長 学童保育は各地区への取り組みを順次行いたい。

あり、年間5万5000個の計画数では少ないのではと感じている。深層水をボイラーで加温するコストをいかに抑えるかである。安くて良質の稚貝の確保も経営上重要である。

5月、入善町企業誘致促進協議会が設立され町を挙げて取り組んでいく。平曾川国道線の延長整備や企業立地用地の確保等も検討を進めている。

下水道の負担金や

使用料の減免要綱

設置を

公民館など公共施設の一室を開放すれば児童館やミニ児童館の設置は可能であり努力していきたい。

アンケートでも「保育料が高い」がトップであり、平成14年度に向け、保育料の減免について検討したい。

養殖事業は

見直しが必要だ

問 我が党は海洋深層水による養殖事業はリスクが大きいと指摘し、国、県など関係機関の研究や支援が不可欠だと強調してきた。

深層水利用の企業誘致の見直しはあるのか。

蓄養もリスクの大きい養殖事業も見直しが必要ではないか。

町長 アワビ養殖は、専門的な技術が必要とせず、少ない人員で済む。市場性も

問 負担金や使用料減免の要綱設置についてどのような検討をしているか。高齢者や母子家庭など低所得者の実態を把握しているか。

中島下水道課長 現時点では減免要綱の設置は困難である。今後、高齢者や母子家庭などの実態を把握し、対応策を検討したい。

問 水洗化に高齢者住宅改善事業が適切に活用されているか。業者への指導は徹底されているか。

健康福祉課長 小摺戸地区で2名に補助金を交付した。広報に記事を掲載する。

火災防止対策及びサイレン吹鳴装置

無作動の改善策があるか

上野 等 議員

消防署長

無火災のまち入善を目指し吹鳴装置の更新を図る



吹鳴装置の発信元

問 当町の火災発生状況について防火対策はどのよう
に考えているか。

岩田消防署長 入善町にお
いては、前年同期は0件に
対し、すでに6件の火災が
発生しており、誠に憂慮さ
れる事態となっている。今
後はあらゆる機会をとらえ
毎月1日と15日の、無火災
の日は勿論のこと、婦人防
火クラブ員による毎月19日
の「婦人防火の日」の巡
回広報、各種団体、関係
機関に呼び掛け、町民自ら
が「無火災の町 入善」
を目指すように啓蒙してい
きたいと思っている。

問 サイレン吹鳴装置の今
後の対応についてどのよう

な計画を考えているのか。

消防署長 現在使用してい
るサイレン吹鳴装置は、20
年以上経過し老朽化が著し
く、今後部品等の調達が不
可能な状態である。災害発
生時に消防団員の早期召集
ため早急にこのサイレン吹
鳴装置の更新を図ってい
きたいと計画しており、ご
理解を賜りたい。

問 救急救命士の養成計画
についてどのように考えて
いるか。

消防署長 現在2名の救命
士がおり、今年度は、2
名の救命士を養成すること
になっている。しかし、
本町には公的総合病院はな

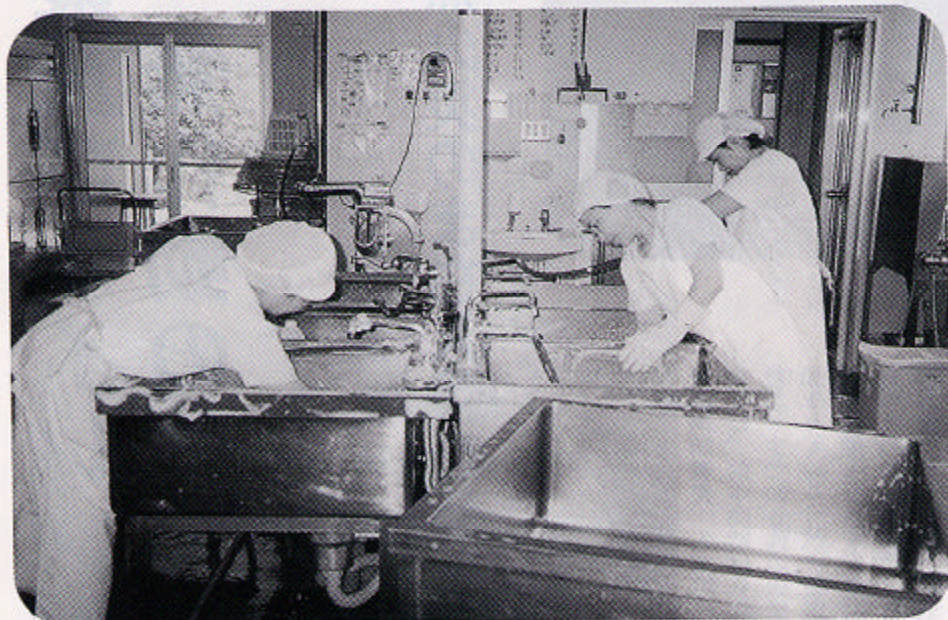
く、隣接市町公的総合病院
に搬送しているのが実情で
あり、1件の救急出動には
1時間前後の時間を要し、
また救急同時出動が発生し
た場合には救命士が乗務で
きない場合もある。平成14
年度から平成17年度まで毎
年1名ずつ養成し、8名体
制の確立を図り、町民の方々
が安心して暮らせるように
出動要請には万全の体制を
図る。

近隣町にくらべ 義務的経費がなぜ高いのか

西尾政巳議員

財政課長

総合体育館建設事業債を 繰上償還するため



食中毒防止に努める調理師

問 人件費、扶助費、公債費の義務的経費は入善町は48億5000万円で10・6%増、朝日町は33億円で4・1%増、宇奈月町は18億4000万円で0・8%増である。何故、本町のみが2桁台の伸びになるのか。

財政課長 議員ご指摘のとおり他町と比較して大きく伸びている。人件費はほぼ横ばい、扶助費は6・2%増、公債費は34・4%増で総合体育館建設債を繰上償還するため大きく伸びた。

問 町単独事業の伸びと特色ある町づくりは。
財政課長 町づくり積極的に取り組んでいきたい。特色ある町づくりは海洋深層水事業がそれに当てはまる。

ゆとりある

教育というが

問題点がないか

問 来年度から実施されるゆとりある教育による学力低下への懸念や学校完全5日制による塾通いの一層増加についてどう思うか。

教育長 これまでの教育は知識重視で知識の詰め込み教育であって、人を育てる教育ではなかった反省がなされ学校の役割は、社会の変化に対応し生きる力を育むという中教審の答申が出た。具体的には、自分で課題を見つけ自分で考え解決する力を養うのが学校の役割だ。

問 一流大学への入学試験は益々倍率が高くなり過熱している現況について。
教育長 児童生徒の特性に応じて今後、教師はこれまでの学力観を変えたと共により一層専門性が要求される事になると思う。

問 学校給食における環境衛生や食中毒防止の現況は。
西川学校教育課長 食中毒の発生原因をつくらない事はもちろんだが、子供自身の抵抗力を付けることが大切。それには野菜や、にがてな食べ物も好き嫌いせず、バランスのとれた学校給食を残さずしっかりと食べてもらう事が大切。

問 海洋深層水事業は町発展の起爆剤としての要素もあるが、視察の成果は。
町長 今後建設する管理給水施設には深層水の脱塩装置はぜひ設置したい。また、脱塩水と同時に出来る濃縮水を使ってコスト削減が出来ないか等、専門家のアドバイスもいただきながら、検討していく。もちろん町が事業主体になるということよりも民間の事業者の誘致ということで働きかけて参りたい。

「聖域なき構造改革」 総合計画の見直しは

元島 正隆 議員

町長

国の動向をみて計画的な遂行を図る

問 地方行政の根源を揺るがす国の改革がなされようとする今日、国への依存度が高い市町村にとって地方交付税の削減、事業の見直しなど危機的な状況となる。町の行財政改革、新総合計画のローリングを

する考えはあるのか。
町長 小泉内閣が提唱している道路特定財源や地方交付税の見直しなど、地方財源にかかる制度の抜本的改革が行われると、総合計画の事業費や事業年度も当然見直しが余儀なくされる。町では、社会経済情勢の変化や、国等の動向の変化に柔軟に対応するため毎年ローリングを図る考えである。今後、示されるであろう国

新装なった南部農業倉庫（新屋）

の諸改革に対しても、町の行政改革も視野に入れ、的確に対応したい。

急がれる農業公社設立

問 農地流動化、担い手育成、転作拡大、米価下落等、町の基幹産業を取り巻く要因はどれ一つとして明らかな要素がない今日、農業公社は農民が心待ちにして

いる起死回生策である、何月より準備委員会設立との姿勢を示すべきであるがどうか。
大角農業水産課長 農業公社の設立は15年度として総合計画の中で、リーディング・プランとして、重要な施策

の一つとして位置づけています。現在、意向調査の分析をしているところであり、その後、設立準備委員会を設置する。

助役 昨年来、エネルギーを注いだ海洋深層水の問題も一応の眺望が開けてきたので、今度は、早期に農業公社の設立に全力を挙げたい。ぜひご期待いただきたい。

問 「郷土イベント型」と「特産物型」のイベントがバラバラ開催である。一体化を推進することにより、お互いに相乗効果があり大きなイベントとなり町おこしの起爆剤となると思うがその考えは。
商工観光課長 昨年、各種

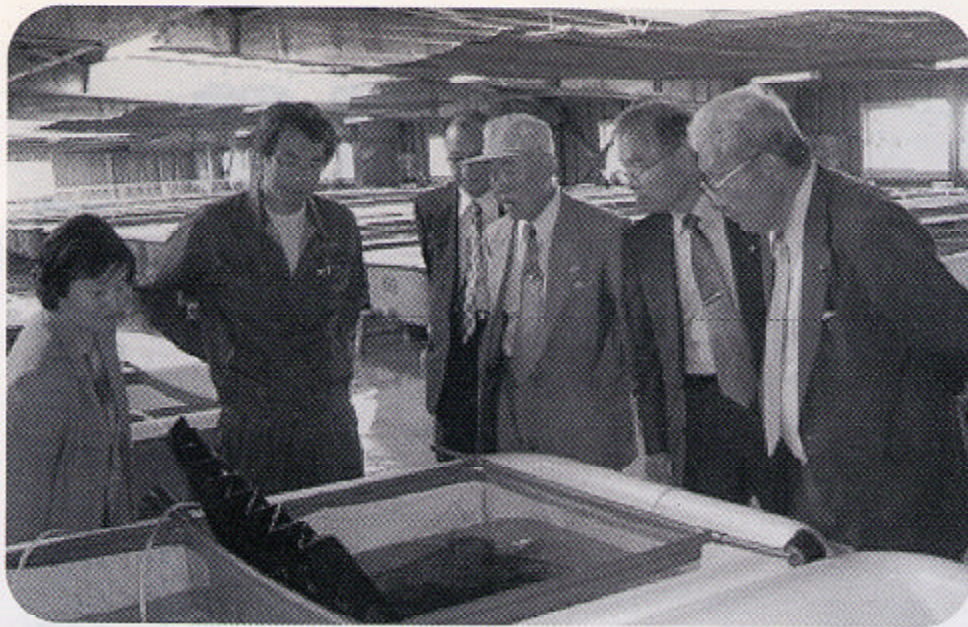
団体が開催しているイベント、農業祭と港まつり、商工会フェスティバルを一つにまとめようと企画したが、2会場で開催したため成果が上がらなかったのが反省点である。広い駐車場を持つサンウエルや総合体育館をメイン会場にして、町内外への情報発信を図りながら、単発花火でなく住民参加型イベントの創造を積極的に進めていく。

〈用語解説〉

ローリング・プランとは、「エコ・ネットタウンのまちづくり」を進めるために、平成13年度から17年度までの5カ年で重点的かつ先行的に実施するプランです。

研修視察記

産業経済常任委員会



上ノ国町栽培漁業総合センター

6月26・27日、1泊2日で北海道熊石町と上ノ国町を訪問し、エゾアワビの養殖事業を視察した。

熊石町はアワビ人工種苗15mmサイズを北海道栽培漁業振興公社より供給を受け、温泉水熱を利用して、1年間中間育成した後、30mmサイズを放流している。しかし餌となる海藻が不足して放流効果があらわれずアワビが減少している状況にある。そのため漁協青年部等が主体となって少し大きな45mm、50mmの海中養殖に取り組み、大きな効果をあげている。熊石町の道センターは、餌を独自に開発、15mmから50mmに成長した稚貝、約100万個を毎年日本海の各地に供給している。

上ノ国町では漁業者がしっかりとした管理を行い、安定して水産物を生産できる増養殖業の確立を目ざしている。そこで原歌地先の海に大規模な漁業の拠点として「海洋牧場」を造成した。ここではアワビ30mm種苗を1年間中間育成し、50mmにし、30万個生産できる施設となっている。しかし現在は需要の関係で18万個の生産としている。

養殖の熱源として、2基

の風力発電機を設置、ヒートポンプ式循環システムを採用することにより、年間を通じて飼育水温を18℃を維持している。

20年の歴史ある養殖事業、規模の大きさに一同唖然とした。我が町の取り組みには腹を据え町と漁協一丸となったの事業展開が究極の課題となる。入善町の養殖事業は漁協が経営主体であり、技術の確立と黒字経営の事業計画と実践を強く求めたい。

第34回議会

臨時会を開会

工事請負契約2件を議決

7月3日、第34回議会臨時会が招集され、提案された次の議案2件を可決した。

○東町町営住宅建替事業第2期

C棟新築工事建築主体工事

契約金額 2億5042万5000円
契約の相手 廣川建設工業㈱

○入善海洋深層水供給施設

管理研究施設新築工事建築主体工事

契約金額 6804万円
契約の相手 笹島建設㈱

北陸支店入善営業所
(契約金額は、いずれも消費税を含む)

大林政雄議長

富山県町村議長会副会長に就任

5月23日開催された富山県町村議長会議長の理事会に於いて大林政雄議長が副会長に就任した。

なお、大林議長は本年3月全国町村議長会議長会より、特別功勞表彰を受賞した。

4月から6月まで 町発注工事入札結果表

(工事費 500万円以上)

(単位：千円)

工 事 名	請負金額	予定価格	落札率(%)	入札回数	落 札 業 者	備 考
一 般 工 事						
上原町営住宅屋根瓦葺替工事	5,590	5,652	98.9	1	(株)松原工務店	
日吉青島上田線外1路線舗装工事	7,400	7,877	93.9	1	廣川建設工業㈱	
小摺戸若葉新線外3路線舗装工事	10,000	10,180	98.2	1	共和土木㈱	
神林上田線外3路線舗装工事	7,600	8,098	93.9	1	廣川建設工業㈱	
平曾川国道線改良その1工事	9,000	9,293	96.8	2	(株)興和建設	
平曾川国道線改良その2工事	8,600	8,668	99.2	2	井田建設	
東町中学校線外1路線改良工事	7,200	7,397	97.3	1	(有)大豊建設	
小摺戸地区防火水槽設置工事	6,000	6,165	97.3	2	(有)水野建設	
舟見コミュニティーセンター線改良工事	6,900	7,090	97.3	2	古川建設	
梶山保育所改築事業建築主体工事	131,900	164,699	80.1	1	中山建設㈱	制限価格以下1
梶山保育所改築事業電気設備工事	19,000	19,021	99.9	1	米沢電気商会	
梶山保育所改築事業機械設備工事	23,950	29,889	80.1	1	花田配管	制限価格以下1
入善漁港海岸保全施設整備工事その1工事	70,000	73,095	95.8	1	(株)飯作組	
入善漁港改修(その2)工事	42,500	44,577	95.3	1	(株)杉沢組	
旧梶山小学校校舎及びプール解体工事	25,500	25,561	99.8	1	興和建設㈱	
東町町営住宅建替事業第2期C棟新築工事建築主体工事	238,500	252,705	94.4	1	廣川建設工業㈱	
計	619,640	679,967	91.1			
入善町特定環境保全公共下水道事業						
吉原第1ポンプ場さく井工事	8,850	8,913	99.3	1	(株)本田工業	
下水道管理高度情報化設備その3工事	36,200	37,011	97.8	1	機エヌ・ティ・ティエムイー北陸	
下水道管理高度情報化設備その4工事	31,400	31,719	99.0	1	日本電気システム建設㈱	
入善西部処理分区第34工区工事	29,300	32,645	89.8	1	池原建設㈱	
吉原ポンプ場場内整備工事	16,700	17,604	94.9	1	(有)高沢組	
入善西部処理分区第36工区工事	11,950	12,201	97.9	1	(株)島田工務店	
入善西部処理分区第37工区工事	12,500	12,827	97.5	1	(有)草建工	
入善処理分区第111工区工事	19,900	20,142	98.8	1	上島建設工業㈱	
計	166,800	173,062	96.4			
農 業 集 落 排 水 事 業						
新屋地区管路工事第9工区工事	24,800	25,484	97.3	1	(株)坪野組	
新屋地区管路工事第10工区工事	35,500	43,821	81.0	1	笹島建設㈱	
新屋地区管路工事第7工区工事	29,200	30,812	94.8	1	石川建設㈱	
新屋地区管路工事第8工区工事	42,000	43,508	96.5	1	大勝建設㈱	
新屋地区管路工事第12工区工事	27,000	28,430	95.0	1	寺林建設㈱	
計	158,500	172,055	92.1			
入 善 町 公 共 下 水 道 事 業						
入善処理分区第110工区工事	14,000	14,410	97.2	1	中山建設㈱	
入善処理分区第109工区工事	23,500	27,876	84.3	1	廣川建設工業㈱	
下水道管理高度情報化設備その5工事	40,000	43,426	92.1	1	日本電気㈱	
下水道管理高度情報化設備その6工事	27,900	28,495	97.9	1	日本電気㈱	
入善処理分区第114工区工事	20,500	21,053	97.4	1	竹田建設	
入善処理分区第113工区工事	22,100	22,674	97.5	1	五十里建設	
入善処理分区第115工区工事	26,000	32,356	80.4	1	(株)杉沢組	
計	174,000	190,290	91.4			
合 計	1,118,940	1,215,374	92.1			

各種団体からひとこと



土地改良区の統合に向けて

入善町管内土地改良区

統合整備推進協議会

副会長 大井博史

土地改良区は、農地の整備や用水・排水の改良などを通じて、農村基盤の充実に大きな役割を担っています。しかし、最近の米価の下落にみられるように農業生産物価格の低迷など、取り巻く状況は厳しさを増しています。

このため、農業構造の改善を図り「足腰の強い農業」を育てるための、新しい視点に立った農村基盤の整備を進めてきたところでありますが、さらに生産基盤と農村環境を一体的に整備することにより「うるおいと安らぎ」のあ

る農村空間の形成と保全が求められています。このことから、土地改良区の経営基盤の強化、運営事務の向上を進めながら、計画性のある各種事業の執行と維持管理の一元化を図るため、土地改良区の再編統合を進めなければなりません。

平成12年11月から管内の6つの土地改良区と町、県および県土地改良事業団体連合会で構成する統合整備推進協議会を組織し、統合に向けた協議を進めています。言うまでもなく統合は組織の充実と経費の節減、運営の効率化等を図るものでなければなりません。現在、協議会では各土地改良区の組織や財務状況を調査分析し、統合に向けての協議を重ねております。

今後は、各土地改良区の組合員への啓蒙をとおして合意が得られるよう努力し、平成14年4月の統合に向けて諸準備を進めてまいります。組合員の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

傍聴席からひとこと



大角杏里
(青島)

新規採用職員研修の一環として、入善町議会の傍聴をしました。

初めて議会という場所に足を踏み入れるという状況に緊張しつつ質問内容に興味を覚えながら出席しました。全体的な雰囲気としては厳肅な感じを受けましたが、質問が進むにつれて和やかで親しみやすい部分も見えたので聴きやすいように思えました。

質問の内容については、現状をふまえて核心をついたものとなっており、タイムリーな質問が多かったように思えました。また、町の一層の発展を願った発言も見られ、町政に対する関心の深さが伺われました。

ただ、質問される議員が多数であったがために、一人一人の持ち時間が少な

ることで十分納得のいくまで質疑出来なかったように見受けられました。そして、その様な状況の中でお互い譲り合うことで時間をつくり、相手に便宜を図ろうという議員の態度には感銘を受けました。

答弁については、一つ一つの質問に対して真剣に答える担当課の姿に、日頃の町政実行の姿勢が丁寧かつ熱意あふれるものであることが表われていました。しかも、突然の質問にも担当課が臨機応変に対応することで、議員が頼もしく感じていたことは傍聴者にも伝わってきました。

こうしたことから私は、利用者の声を反映した保育所づくりの重要性につながるものを感じ、また、今後保育をする上で、今回学んだ多くのことを生かして行きたいと思いました。

編集の窓

*小泉内閣が発足して、高い支持率を維持している。これは、とりもなおさず改革を期待している現れであろう。29日は参議院議員選挙の投票日。有権者の全てが投票に行き、自分の意思表示をすべきと思う。

*多くの改革が山積みされているが、改革にはそれなりの痛みを伴うと小泉総理が常々言っている。痛みとはどのようなものか参院選が終わり、これから表面化してくる。あなたは耐える事ができますか。

*沖縄県で起きた相づく米兵による女性暴行事件。日米地位協定が事件の解決を遅らせた。我が国で起きた事柄は自国が責任と自主性をもって行うもの。この日米地位協定も早い時期に改正すべきものと考え

議会広報編集特別委員会

委員長 本多 幸男
副委員長 元島 正隆
委員 大橋美椰子
委員 谷口 一男
委員 板川 清治
委員 九里 郁子